

2017 年度

アメリカ留学報告書

実習先：セントラル・ミズーリ州立大学

実習期間 8月23～12月8日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016054
信田和範

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
		5
5	派遣留学によって得られたこと	5
6	反省と課題	5
	謝辞	6

付録

研修日誌	6
	7
	8

1 研修先及び実習期間

留学先 セントラル・ミズーリ大学 IEP クラス

留学期間 8月23～12月8日

2 研修先概要

1871年設立、ミズーリ州の東に位置する、人口約2万人の人口を有するウォレンズバーグ市にある総合大学。生徒数は、約1万2000人、全米からの学生はもちろんのこと、約60カ国からも、学生が集まっている。

大学の図書館は三階建て、土曜日以外は夜遅くまで図書館を利用できる。祝日以外なら毎日この図書館を利用できた。テスト前となると、多くの学生が利用していた。

キャンパス内には、レックセンターと呼ばれる施設があり、その施設内では屋内スポーツ、バドミントンや、バレーボール、バスケットボールなどをすることが出来た。さらにはロッククライミングをすることも出来る設備も備えられていた。

大学周辺には住宅地が広がり、徒歩10分もかからない場所に、ウォレンズバーグ駅があり、その周辺にはこぢんまりとした、飲食店や、雑貨屋が軒を連ねていた。

3 研修の目的

今回、自分が留学制度を利用してアメリカに留学したのは、幾つかの理由があった。自分が今まで学んできた英語が、どれぐらい使えるのか試してみたかった。今まで以上に英語を聞いたり話したりする機会が欲しかったから。又、若いうちに異なる慣習などを実際に経験したりすることは今後、約立つに違いないと感じたから。これらの理由を踏まえ、自分は本学の留学制度を利用し、アメリカへの約4か月間の留学を希望した。

4 研修の詳細

前期日程

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
9:00-10:50	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills
11:00-12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar
14:00-14:50	Accent Reduction	Seminar in America	Accent Reduction	Seminar in America
15:00-15:50	American History	USA and Japan	American History	USA and Japan
16:00-16:50	TOEIC		TOEIC	Conversation partner

後期日程

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
9:00-10:50	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills
11:00-12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar
14:00-14:50	Accent Reduction	Seminar in America	Accent Reduction	Seminar in America
15:00-15:50	American History	USA and Japan	Writing LAB	GRAMMAR LAB
16:00-16:50	TOEIC		TOEIC	Conversation partner

各授業についての詳細

Reading

前期、後期の授業を通して、いかに早く、そして正確に英語で書かれた文章を、読み解くのかを教わった。後期の授業では一冊の小説本を用いて、前期に習った文章を読む力を生かし小説を読みきった。後期の授業は、前期の授業で習ったことを実際に用いることが出来るようにと、焦点を当てていたのではないかと思われた。

Writing

ライティングの授業では、レポートや小論文の書き方を学んだ。授業で習ったことを生かして、何度か文章を書いた。

Accent Reduction

英語の発音を向上すべく設けられた授業。会話やゲームを通して、改善点を見出し、その箇所を練習した。

American History

アメリカへの入植が始まった頃から、大陸、西部への開拓が本格化した間、どのようなことが起こったのかを、学んだ。

TOEIC

TOEICK のテスト対策を目的とした授業。出題傾向を踏まえたうえの授業内容だった。テストの得点を上げるには、どのように問題を解くのか、どういった点に注意すれば良いのかを、丁寧に教わった。

Communication Skills

パワーポイントを用いてプレゼン発表、個人でのプレゼンとクラスメイト数人でグループを作り協力するグループプレゼン、これら二種類のプレゼンをした。

課題として、リスニングをし、テキスト等にその内容を自身でまとめて書き込む課題が、出された。その課題を通して話の内容を的確に、正確に聞き取る能力を伸ばすことが出来た。

Grammar

文法知識の習得、整理を目的とした授業内容。ただテキストを進めるだけではなく、クラスメイトと一緒に問題を解いたりもした。

USA&Japan

日米の関係がどのような変遷を辿って来たのか、現在どのような関係なのか学習した。何度かプレゼンテーションをした。

5 派遣留学によって得られたこと

様々な国から来た同世代の留学生と出会いお互いに知り合うことが出来たことは、自分にとって価値ある経験だった。又、英語を通しての情報のやり取りは、楽しく意義深いものであった。

約4か月間の留学を終えて、自分はさらに英語の力を上達させたいと、以前にも増して思っている。その理由は、偏に英語を通しての交流が楽しかったからである。今後、今まで以上に英語の力を上達するには何が出来るのか、考えるきっかけを、今回の留学を通して得ることが出来た点は、これからの自身の英語学習にプラスの要因として働くと、自分は考える。

6 反省と課題

約4か月間という間をアメリカで過ごした。この期間を通して、英語以外にも様々な事を学んだ。今回の研修を通して、以前よりは英語の能力が上がったのではと感じた。実際、帰国後に受け取った TOEIC の数値は自身が想像していたものより上がっていた。しかし、自分が欲する英語の能力を得るためには、改善すべき点が未だにあり、今後も英語の勉強を継続する必要があると感じた。

今後、今以上に英語の力を伸ばすには、今回の留学を通して得られたことを、最大限生かすことが重要だ。新しく得た、知識や経験といったものを、次に生かすこととはもちろん、反省すべき点は、正していかなければならない。

謝辞

留学までの手続きを、支えてくださった先生方、事務員の方々等には、深く感謝申し上げます。留学先での生活を支えてくださった先生方、クラスメイト、本大学の留学メンバーには、何度も助けていただき、感謝しております。

約 4 か月の留学を、無事にかつ有意義に過ごすことが出来たのは、様々な方々の支えがあつての事であり、支えてくださった皆様には、深く感謝しております。

付録

9月10日 カウフマン・スタジアムで野球観戦。

球場まで、ひたすら長く直線にひかれた道路をバスは進んだ。いくつかの丘や池、窓の外にはのどかな景色が広がっていた。

球場内は、カンザスシティロイヤルズのチームカラーである、青色の服を着たサポーターの姿が多く見受けられた。地元球団ロイヤルズの応援のため、幅広い年代のお客さんが駆けつけていた。ポップコーン、ホットドッグ、フライドポテトなどが球場内で購入できた、価格は少し高めだった。セキュリティ対策はしっかりとしており、入口付近に設けられたゲートをくぐる際には、緊張した。

一時は、ロイヤルズが負けるのではと思ったが、最終的には試合に勝った。見ごたえのある試合だった。

9月22日 Jefferson City Road Trip

州会議事堂などを、見学しに行った。議事堂は荘厳なつくりの施設だった。内部の壁画や、細かい装飾などが、美しかった。



9月23日

ネルソン・アトキンズ美術館

大学からバスで移動。ヨーロッパの美術品のみならず、アジア圏の美術品も数多く展示されていた。彫刻、絵画さらには日本の美術品などもあり、幅広い種類の芸術作品が展示されていた。日本の美術品を海外で見た際、不思議な感覚がした。様々な地域、種類の芸術作品を鑑賞でき見応えがあった。

美術館を訪れたのち、カンザスのプラザを観光した。天気は晴れで、温かい日だった。街中は賑やかだった

10月7日 Japan Festival

会場となった施設に着いた。若者が多く訪れていたと感じた。日本食の販売がされており牛丼、寿司、お団子さらには笹団子さえも販売されていた。様々な日本食が販売され、それを購入しようとする人で想像以上に長い列ができていた事に驚かされた。

アニメや漫画のブースはもちろん、盆栽や相撲などを紹介する場所も設けられていた。

アメリカで日本のことを紹介する催し物に参加して、海外から日本を見るというのは、初めての経験で何とも言えぬ感情を覚えた。



10月28日 Farm Activity

農場を訪ね、そこでどのような農産物が育てられているのか実際にみた。秋から冬農場には数多くのカボチャを見ることが出来た。名前だけは聞いたことがあった、アップルサイダーを、実際に飲むことが出来た。リンゴの甘さとピリリとした香辛料の絶妙だった、寒さも幾分か和らいだ。



11月17日 Thanksgiving dinner

この日、開かれる会場の準備を手伝うため開始時刻より早くに会場に入った。パーティーの開始時刻が近づくとつれ、大勢の人たちが集まり始め、会場内が次第ににぎやかになり始めた。早く始まらないかと、パーティーが始まる時刻が待ち遠しく感じられた。

感謝祭の期間に食べられる料理、七面鳥やパンプキンパイなどを食べた。どの料理もおいしかった。

11月19～11月21日

この期間には、3人のホストファミリーのお宅を訪問し、夕食を一緒にした。ゲームや、会話を楽しんだ。クリスマスのツリーの飾りつけなどもすることが出来、忘れられない思い出になった。自分の家族や地元、新潟の事についてなどを、よく質問された。

12月6日 Awards Ceremony

一人一人の名前が呼ばれ、全員に修了証書が手渡された。式典の最中にはスライドショーが流れ、留学期間中の様々な思い出が呼び起こされた。懐かしさや、名残惜しさを感じた。その後、今までお世話になった先生方やクラスメイトと会話をしたり、写真撮影をしたりして時間を過ごした。感動的な式典だった。